



## 平成20年3月期 第1四半期財務・業績の概況（非連結）

平成19年7月27日  
 上場会社名 株式会社タカキタ 上場取引所 東証二部・名証二部  
 コード番号 6325 URL <http://www.takakita-net.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 若山 東男  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役総務部長 (氏名) 沖 篤義 TEL (0595) 63-3111

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成20年3月期第1四半期の業績（平成19年4月1日～平成19年6月30日）

#### (1) 経営成績

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
20年3月期第1四半期	2,376	3.0	91	5.8	100	8.1	59	40.7
19年3月期第1四半期	2,305	△22.4	86	△33.2	92	△31.0	41	△32.1
19年3月期	9,403	—	231	—	243	—	103	—

	1株当たり四半期(当期)純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益	
	円	銭	円	銭
20年3月期第1四半期	3	70	—	—
19年3月期第1四半期	2	63	—	—
19年3月期	6	48	—	—

#### (2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%		円	銭
20年3月期第1四半期	7,033		4,071		57.9		254	69
19年3月期第1四半期	6,811		4,041		59.3		252	13
19年3月期	7,037		4,091		58.1		255	90

#### (3) キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
20年3月期第1四半期	△136	200	△56	267
19年3月期第1四半期	△76	△0	113	44
19年3月期	163	△1	91	260

### 2. 平成20年3月期の業績予想（平成19年4月1日～平成20年3月31日） 【参考】

第1四半期の業績は予定通り推移しており、平成19年5月16日に公表しました業績予想の見直しは  
 おこなっておりません。

### 3. その他

(1) 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有

(2) 最近事業年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 有

(注) 詳細は、2ページ【定性的情報・財務諸表等】3. その他をご覧ください。

## 【定性的情報・財務諸表等】

### 1. 経営成績に関する定性的情報

当第1四半期におけるわが国の経済は、企業収益の好調さが持続し、設備投資も引続き増加するなど概ね好調に推移しましたものの、原油価格の動向や金利上昇の懸念等、先行きに不透明感漂う状況が続いております。

農業を取り巻く環境につきましては、新農政の進展により農業の構造変化が進み、農業機械の買い控えが顕著となるとともに、酪農情勢も低迷が続き、国内需要は低調に推移しました。

このような情勢のもと、農業機械部門におきましては、主力機種であります牧草関連作業機や土づくり関連作業機を中心に営業力を上げ、シェアアップを図り諸施策を実施しました結果、売上高は12億36百万円（前年同期比2.5%増）となりました。電器音響部門におきましては、売上高は9億98百万円（前年同期比2.9%増）となりました。また、軸受部門におきましては、産業界の好調な設備投資の状況もあり受注が増加し、売上高は1億41百万円（前年同期比8.9%増）となりました。

以上の結果、当第1四半期の売上高は23億76百万円（前年同期比3.0%増）、営業利益は91百万円（前年同期比5.8%増）、経常利益は1億円（前年同期比8.1%増）、四半期純利益は59百万円（前年同期比40.7%増）となりました。

### 2. 財政状態に関する定性的情報

当第1四半期末の総資産は、現金及び預金が減少したため、前期末と比較して3百万円減少し、70億33百万円となりました。

当第1四半期末の負債合計は、短期借入金等が増加したため、前期末と比較して15百万円増加し、29億61百万円となりました。

当第1四半期末の純資産合計は、配当金の支払等により、前期末と比較して19百万円減少し、40億71百万円となりました。その結果、自己資本比率は、前期末の58.1%から57.9%となりました。

#### （キャッシュ・フローの状況）

当第1四半期末の営業活動によるキャッシュ・フローは、売上債権の増加や仕入債務の減少等により1億36百万円の減少となりました。投資活動によるキャッシュ・フローは、定期預金の払戻による収入等により2億円の増加となりました。財務活動によるキャッシュ・フローは、長期借入金の返済による支出等により56百万円の減少となりました。

以上の結果、当第1四半期末における現金及び現金同等物は、前事業年度末に比べ6百万円増加し、2億67百万円となりました。

### 3. その他

#### (1) 会計処理の方法における簡便な方法の採用

法人税等の計上基準・・・法定実効税率をベースとした年間予測税率により計算しております。  
たな卸資産の計上基準・・・実地たな卸しは行わず、帳簿たな卸しによっております。

#### (2) 最近会計年度からの会計処理の方法の変更

法人税法の改正に伴い、平成19年4月1日以降に取得した有形固定資産の減価償却費については、改正後の法人税法に基づく方法に変更しております。

なお、この変更による営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

4. (要約) 四半期財務諸表

(1) (要約) 四半期貸借対照表

科目	前年同四半期末 (平成19年3月期 第1四半期末)	当四半期末 (平成20年3月期 第1四半期末)	増減		(参考) 前期末 (平成19年3月期末)
	金額 (千円)	金額 (千円)	金額 (千円)	増減率 (%)	金額 (千円)
(資産の部)					
I 流動資産					
現金及び預金	254,381	277,673	23,292	9.2	470,819
受取手形	500,053	736,884	236,831	47.4	569,005
売掛金	903,210	910,287	7,076	0.8	891,458
たな卸資産	1,759,442	1,662,339	△97,102	△5.5	1,592,349
未収入金	501,466	713,049	211,582	42.2	751,902
その他	62,192	63,795	1,603	2.6	60,806
流動資産合計	3,980,746	4,364,030	383,284	9.6	4,336,342
II 固定資産					
建物	595,145	563,567	△31,578	△5.3	570,936
機械及び装置	338,272	317,692	△20,579	△6.1	334,486
土地	536,189	514,039	△22,149	△4.1	536,189
投資有価証券	671,267	654,767	△16,499	△2.5	652,168
その他	689,439	619,024	△70,415	△10.2	606,945
固定資産合計	2,830,315	2,669,091	△161,223	△5.7	2,700,726
資産合計	6,811,061	7,033,122	222,061	3.3	7,037,068

科目	前年同四半期末 (平成19年3月期 第1四半期末)	当四半期末 (平成20年3月期 第1四半期末)	増減		(参考) 前期末 (平成19年3月期末)
	金額 (千円)	金額 (千円)	金額 (千円)	増減率 (%)	金額 (千円)
(負債の部)					
I 流動負債					
支払手形	321,524	429,794	108,269	33.7	492,935
買掛金	736,961	791,913	54,951	7.5	800,629
短期借入金	400,000	500,000	100,000	25.0	473,000
その他	490,828	505,815	14,987	3.1	451,778
流動負債合計	1,949,314	2,227,523	278,209	14.3	2,218,343
II 固定負債					
退職給付引当金	579,650	557,897	△21,752	△3.8	544,006
その他	240,838	176,115	△64,722	△26.9	183,417
固定負債合計	820,488	734,013	△86,474	△10.5	727,423
負債合計	2,769,802	2,961,536	191,734	6.9	2,945,767
(純資産の部)					
I 株主資本					
1. 資本金	1,350,000	1,350,000	—	—	1,350,000
2. 資本剰余金	825,877	825,877	—	—	825,877
3. 利益剰余金	1,706,050	1,746,825	40,774	2.4	1,767,673
4. 自己株式	△2,501	△3,033	△531	21.2	△2,661
株主資本合計	3,879,426	3,919,670	40,243	1.0	3,940,890
II 評価・換算差額等					
1. その他有価証券 評価差額金	161,832	151,839	△9,992	△6.2	150,334
2. 繰延ヘッジ 損益	—	76	76	—	76
評価・換算差額等 合計	161,832	151,915	△9,916	△6.1	150,410
純資産合計	4,041,258	4,071,585	30,326	0.8	4,091,300
負債、純資産 合計	6,811,061	7,033,122	222,061	3.3	7,037,068

(2) (要約) 四半期損益計算書

科目	前年同四半期 (平成19年3月期 第1四半期)	当四半期 (平成20年3月期 第1四半期)	増減		(参考) 前期 (平成19年3月期)
	金額 (千円)	金額 (千円)	金額 (千円)	増減率 (%)	金額 (千円)
I 売上高	2,305,867	2,376,195	70,327	3.0	9,403,955
II 売上原価	1,878,543	1,950,216	71,672	3.8	7,804,529
売上総利益	427,324	425,979	△1,345	△0.3	1,599,426
III 販売費及び 一般管理費	340,701	334,353	△6,347	△1.9	1,368,176
営業利益	86,622	91,625	5,002	5.8	231,249
IV 営業外収益	14,928	16,527	1,598	10.7	51,361
V 営業外費用	8,954	8,014	△939	△10.5	38,714
経常利益	92,597	100,138	7,540	8.1	243,896
VI 特別利益	428	—	△428	△100.0	428
VII 特別損失	30	46	16	53.3	6,506
税金等調整前 四半期 (当期) 純利益	92,995	100,092	7,096	7.6	237,819
税金費用	51,000	41,000	△10,000	△19.6	134,200
四半期 (当期) 純利益	41,995	59,092	17,096	40.7	103,618

(3) (要約) 四半期キャッシュ・フロー計算書

	前年同四半期 (平成19年3月期 第1四半期)	当四半期 (平成20年3月期 第1四半期)	(参考) 前期 (平成19年3月期)
区分	金額 (千円)	金額 (千円)	金額 (千円)
I 営業活動によるキャッシュ・フロー			
税金等調整前四半期 (当期) 純利益	92,995	100,092	237,819
減価償却費	37,446	37,242	161,043
売上債権の増加額	△136,831	△154,242	△451,576
たな卸資産の増加額	△309,130	△69,990	△142,086
仕入債務の増減額 (△減少額)	81,134	△73,648	316,213
その他	152,104	56,542	69,362
小計	△82,280	△104,004	190,775
法人税等の支払額	△1,590	△38,712	△34,115
その他	7,503	5,774	7,228
営業活動によるキャッシュ・フロー	△76,367	△136,941	163,889
II 投資活動によるキャッシュ・フロー			
定期預金の払戻による収入	—	200,000	—
有形固定資産の取得による支出	△8,356	△8,824	△31,697
その他	7,703	9,014	29,717
投資活動によるキャッシュ・フロー	△653	200,190	△1,980
III 財務活動によるキャッシュ・フロー			
短期借入金の増加額	200,000	27,000	273,000
長期借入金の返済による支出	△29,999	△19,999	△99,996
その他	△56,153	△63,394	△81,648
財務活動によるキャッシュ・フロー	113,847	△56,393	91,355
IV 現金及び現金同等物の増加額	36,826	6,854	253,263
V 現金及び現金同等物の期首残高	7,555	260,819	7,555
VI 現金及び現金同等物の期末残高	44,381	267,673	260,819